opusdei.org

## 四旬節、復活祭への 道(1)

四旬節は過越の神秘、すなわち主のご受難とご復活という世界の歴史の中心点一私たちの人生の中心点一へと向かう道です。

## 2025/02/26

「主キリストは四十日の断食によって、四旬節の務めを行うわたしたちに模範を示されました。悪霊のいざないを退けられた主は、わたしたちが罪の力に打ち勝ち、清い心で過越

教会は四旬節の間、私たちが心と行いを新たにするよう呼びかけ、日ごとにこの「過越の神秘の中心性」を見出すよう導きます。それは神の御手に私たち自身を委ねることにより、「キリストの死と復活の神秘を深く悟」り、「日々、キリストのいのちに生きる」 まためです。

「ところで人間とは異なもので、こんなに素晴らしいことも忘れ去り、 これほどの秘義にも慣れてしまいま

す。この四旬節を機会に、キリスト 信者である限り浅薄な生活を送るこ とはできないのだと肝に銘じたいも のです。人々と同じく仕事に没頭 し、夢中になしると「同時に神にも 夢中にならなければならないので す。私たちは神の子なのですから1 [A]。それゆえ、四旬節の間、私たち は祈りの中で、回心の必要性を見つ め直し、主へと歩みを向け直し、心 を清めます。「神よ、わたしの内に 清い心を創造し 新しく確かな霊を授 けてください」。これは四旬節に教 会がしばしば唱えるよう促す「ミゼ レーレー (詩編50「51]) の言葉で す。聖ホセマリアも、幾度となくこ の詩編を祈りました。

[1] 四旬節第一主日、叙唱。

[2] 聖ホセマリア『知識の香』64 番。 [3] 四旬節第一主日、集会祈願。

[4] 聖ホセマリア『知識の香』65 番。

Alfonso Berlanga

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/shijyunsetsu-fukkatsusai-michi/(2025/12/16)